

# 「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

## 学力向上目標

全ての児童に対して、

○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる。

・当該学年で習得すべき漢字を読み書きできる。(自校テストで平均正答率を80%以上にする。)

○思考力・判断力・表現力を高める。

・『よい授業』アンケートにおける「児童生徒の活動」の肯定的な回答の割合を、令和2年度の値より2pt向上させる。

○主体的に学習に取り組む態度を涵養する。

・さいたま市学習状況調査【学習における関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より2pt向上させる。

## 具体的な手立て

- ①朝学習の時間に「ドリルパーク」を活用し、児童が自身の課題に応じて学習を進めることができるようにする。
- ②“教え込む”から自ら“考えさせる”「コーチング型授業」を行う。
- ③1時間の中で必ず、ペア、グループ、全体で自分の考えを共有し合う時間を設け、主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりを行う。
- ④どの単元においても、自分の思いや考えを書く活動を充実させる。

国語・算数の授業を中心に、メタ認知を促す振り返りの活動を設けることで、学習活動を通してできるようになったことに気付くことができるようにする。

## 結果

- ・学年末に行った漢字テストの全校平均正答率は、86.2%であった。
- ・良い授業アンケートにおける「児童生徒の活動」の肯定的な回答の割合は、昨年度より0.4pt向上した。
- ・さいたま市学習状況調査【学習における関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合は0.4%向上した。「算数の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合は、変化がなかった。

## 今年度の振り返り・次年度に向けて

コロナ対応によって、対話的授業には制限があったものの、可能な範囲で自分の考えを共有することができた。

授業において、課題を設定し、目的意識をもって学習させることで、意欲的に取り組むことができた。

次年度はスタディサプリ等のアプリケーションを積極的に活用し、個別最適な学習を進め、知識・技能の定着を図っていく。